

エンジニアリング・レポート

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED

正確な現状把握と適正な将来予測を行うために。
豊富な専門知識と経験に基づいた物理的調査を徹底します。

不動産の証券化や多様な不動産取引、不動産投資等において、投資家(購入者)の方々等の投資判断を支援すべく、信頼性の高いエンジニアリング・レポートを提供します。

不動産のコンディションを 把握するための 物理的調査報告書

エンジニアリング・レポート(ER)とは、不動産の証券化や不動産投資等において、不動産を適正に評価するデューデリジェンス(DD)と言われる評価手続の中の「物理的調査報告書」と位置付けられます。

デューデリジェンス[DD]



エンジニアリング・レポート[ER]

ガイドラインに基づいた 中立・公正な調査報告で最適な 投資判断を支援

日建グループのエンジニアリング・レポートは、『不動産投資・取引におけるエンジニアリング・レポート作成に係るガイドライン(2011年版)/公益社団法人ロングライフビル推進協会(BELCA)』に準拠して作成されます。中立公正を堅持し、多くの実績に裏付けられた技術力をもって、投資家(購入者)の方々等の投資判断を支援します。

	調査項目	調査内容
1	建物状況調査	<input type="checkbox"/> 建物状況 <input type="checkbox"/> 修繕更新費用 <input type="checkbox"/> 再調達価格 <input type="checkbox"/> 遵法性
2	建物環境リスク評価 (フェーズ1)	<input type="checkbox"/> 有害物質 <input type="checkbox"/> 建物からの排出 <input type="checkbox"/> 建物環境 <input type="checkbox"/> その他
3	土壌汚染リスク評価 (フェーズ1)	<input type="checkbox"/> 土壌汚染の可能性調査
4	地震リスク評価 (PML)	<input type="checkbox"/> 詳細分析(解析的な方法) <input type="checkbox"/> 簡易分析(統計的な方法)

企業不動産の維持管理、 運用の場でも活用されています

エンジニアリング・レポートの活用は、不動産の証券化や売買目的といった領域はもとより、企業や団体が保有する不動産群の現状把握、それをもとにした将来予測のための基礎資料として、その活用の領域を拡大しています。

日建グループでは、不動産という経営資源の活用を高めるため、エンジニアリング・レポートを端緒とした不動産の維持管理、運用において、グループの持つ豊富なノウハウと強固な組織力により、企業不動産の最適な不動産運営を支援します。

